

# ひとりで悩んでいませんか？

## 特集

# ふくしま県のがん情報をあなたへ



がんは、日本人の2人に1人はかかるといわれている身近な病気です。がんの種類や見つかったときの状態などにより、病状は人によってさまざまです。がん診断を受けたとき、がん治療中に抱えるさまざまな不安や思いを相談できる場所「がん相談支援センター」をご存じでしょうか。センターの役割や、県のがん患者支援の取り組みについて紹介します。

## 1 福島県のがんの状況 (罹患数) について | がんを「正しく」知る

### ● 福島県のがん罹患状況

全国がん登録における2021（令和3）年の本県の罹患数（1年間に新たに診断されたがん患者数）は、15,590人（男性9,159人、女性6,431人）となっています。

上皮内がん（がん細胞が上皮にとどまっているがん）を除く部位別罹患割合の主な上位は、胃（15.3%）、大腸（15.1%）、肺（12.0%）、前立腺（10.2%）、乳房（8.2%）、膵臓（4.9%）となっています。また、がん検診・健診・人間ドックによって発見された症例の割合が多い臓器（上皮内がんを除く）は、胃、乳房、前立腺でした。

### 上皮内がんを除くがんの部位別罹患割合(男女計)



### ● 年齢別の特徴的ながん罹患状況

福島県における2021（令和3）年の罹患割合の高い部位を年齢階級別にみると、多くのがんにおいて、罹患率は加齢とともに増加傾向ですが、乳房（上皮内がんを除く）にあつては40歳以降に急激に増加し、60-64歳がピークとなっています。また、子宮頸部（上皮内がんを除く）にあつては、30代後半から40代後半において高い罹患率を示しています。

### ● がんに関する情報収集サイト 「がん情報サービス」

国立がん研究センターが運営するサイトでは、病名から情報を探したり、公的制度や地域のがん情報、ライフステージに応じた情報を収集することが可能です。

がん情報サービス

検索



## 2 がん相談支援センターについて | がん相談支援センターはどんなところ？

福島県のがん相談支援センターは、「がん診療連携拠点病院」と「福島県がん診療連携推進病院」に設置されています。これらの病院は、どこに住んでいても、がんの状態に応じて適切ながん医療が受けられるように設置されている病院で、福島県内に9カ所あります。

- 1 福島県立医科大学附属病院 (福島市)
- 2 会津中央病院 (会津若松市)
- 3 竹田総合病院 (会津若松市)
- 4 太田西ノ内病院 (郡山市)
- 5 総合南東北病院 (郡山市)
- 6 坪井病院 (郡山市)
- 7 白河厚生総合病院 (白河市)
- 8 いわき市医療センター (いわき市)
- 9 福島労災病院 (いわき市)



### ● がん相談支援センターの役割

がん相談支援センターは、がんに関するさまざまな悩みや不安に対応するために設置されている相談窓口です。その病院に通院している患者さんに限らず、その家族や地域住民の方など、どなたでも無料・匿名で利用することができます。

### ● 主な相談内容

- ・自分の病気や治療について知りたい。
- ・医師から病気のことを説明されたが、難しくよく分からない。
- ・がんと言われ、これからのことを考えると不安でいっぱい。
- ・家族や仕事のことで悩んでいる。
- ・治療や手術にかかる費用が心配。
- ・セカンドオピニオンの手続きを知りたい。



正しい情報を得ること、気持ちを整理することは、納得して治療を選択したり、自分らしい生活を送ることにつながります。お一人で悩まず、お気軽にご利用ください。

【注意点】がん相談支援センターは主治医に代わって医療的判断をする場所ではありません。治療に関することは、病状をよく理解している担当医にご相談ください。

### ● 福島県内のがん患者へのサポートブック

福島県独自のがん情報冊子（がんサポートブック）には、がん治療の流れや医療費のこと、治療と仕事の両立など、福島県のがんに関する情報が記載されています。

#### 【配置場所】

がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院、市町村、図書館

福島県 がん情報冊子

検索



### ③ がん相談のポイント | がん相談をする前に…

ご自身が納得して治療を受け、自分らしい人生を歩んでいくために大切ながん相談。事前に以下のポイントを知ること、ご自身の考えをまとめるためのヒントになるかもしれません。

#### ● 納得して治療を受けるために

担当医に質問をする際は、重要なものを2つから3つに絞って確認しましょう。質問したいことを簡潔にメモにまとめて準備することも一つの方法です。

質問のポイントや具体的な質問例をまとめた冊子「重要な面談にのぞまれる患者さんご家族へ」（国立がん研究センター公式サイトに掲載）も参考にしてください。

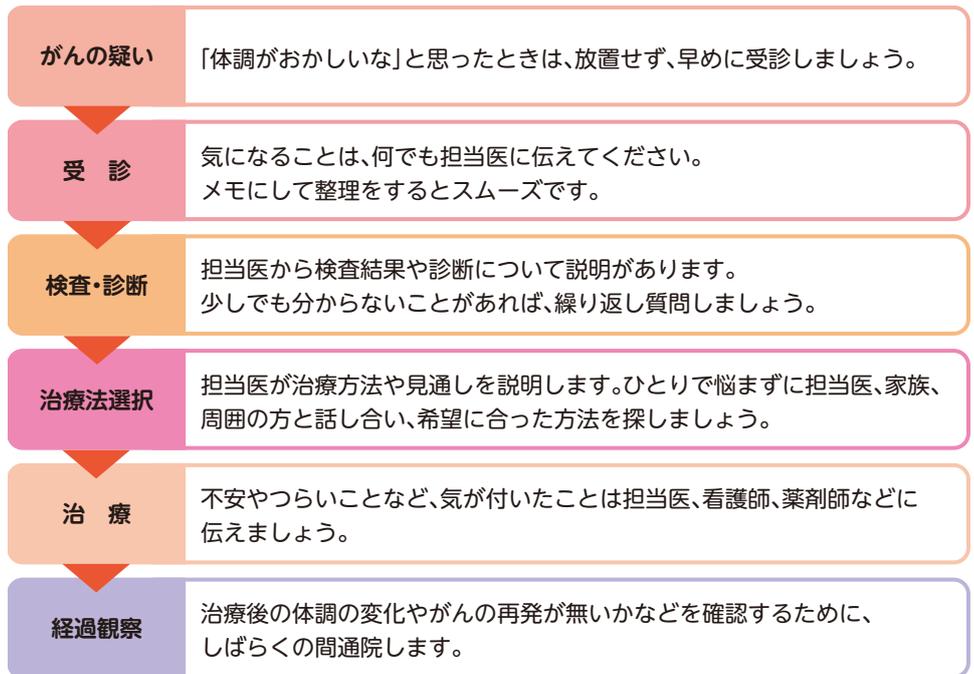


#### ● がんの治療について

大まかでも、がん診療について確認すると、心にゆとりが生まれます。流れを見てみましょう。

##### 【標準治療とは】

現時点で得られている科学的な根拠に基づいた**最も良い治療**のことを「標準治療」と言います。手術、抗がん剤治療、放射線治療をそれぞれ単独で、あるいはいくつかを組み合わせた方法で行われます。多くの場合、「標準治療」を受けることが最も良い選択です。



#### ● 緩和ケアについて

緩和ケアは、がんにかかった患者さんの体やこころの痛み、苦しみ、つらさを和らげ、自分らしく少しでも楽に生活できるよう支えていく医療です。**がんと診断された時から緩和ケアを受けることができます。**緩和ケアを受けたいときは、担当医や看護師へ相談してみましょう。

##### 【がん治療と緩和ケアの考え方】（包括的がん医療モデル）



緩和ケアは、**がんと診断されたときから**始まります。

#### ● がんと仕事の両立について

がん医療の進歩により、治療と仕事を両立させている方も増えてきています。仕事を続けるか辞めるかはご自身や勤務先だけで結論を急がず、主治医やがん相談支援センターへもご相談ください。

より専門的なご相談は、右記の相談窓口をご利用ください。

県内の一部のがん診療連携拠点病院では、ハローワークの職業相談員が出張個別相談（予約制）を行っています。

相談内容	相談窓口	所在地
治療しながら職場復帰、就労継続したい	福島産業保健 総合支援センター	福島市栄町6-6 ☎ 024 (526) 0526
休職や復職を考える前に労働条件や社会保険のアドバイスを受けたい	福島県社会保険労務士会 相談日：毎月第4水曜日 午後1時～午後5時 (事前予約制) 面談・電話相談可	福島市御山字三本松19-3 ☎ 024 (535) 4430
治療しながら就職を目指す	ハローワーク	連絡先・所在地はこちら

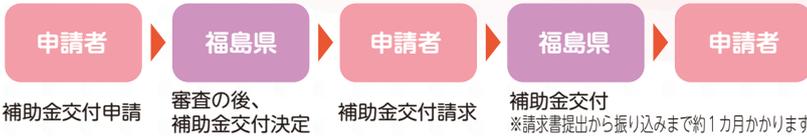
4 アピランスケア※1 助成事業について

がん治療に伴うウィッグ、乳房補整具の購入費用の一部を助成します。

※1 がんの治療による外見の変化に対するケア

【対象者】 がん治療に伴い、対象補整具を購入した方で、申請時に福島県内に住所を有する方  
※申請の受け付けは、対象補整具を購入した年度の3月31日までとなります。

【申請の流れ】(郵送または直接提出)



【申請期限】

令和8年3月31日(火)(令和7年度事業分)

【申請先】(郵送可)

〒960-8670  
福島市杉妻町2番16号  
福島県地域医療課 ☎024(521)7221  
詳細は、県ホームページをご覧ください。

福島県 アピランスケア 検索



【補助対象・補助額】

対象補整具	補助上限額
ウィッグ(全頭用かつらに限る。付属品は対象外)	2万円
乳房補整具(補整パッドまたは装着型人工乳房に限る)	1万円(左右各1万円ずつ)

※上限額未満であっても、補助対象の補整具は1つに限ります。  
※ウィッグと乳房補整具の重複補助は可能です。

5 妊孕性温存療法の助成事業について

子どもを持つことを望む若い世代への妊孕性温存療法に係る経費の一部を助成します。

にんようせいおんぞんりょうほう

妊孕性とは、「妊娠するための力」のことをいいます。

がん治療の種類によっては、治療後、男女ともに妊娠が困難になることがあります。がん治療前に卵子や受精卵、精子を凍結保存する「妊孕性温存」により、がん克服後も妊娠の可能性を残しておくことができます。

また、妊孕性温存療法により凍結保存した卵子や受精卵、精子を用いてがん治療後に妊娠を補助するために実施される治療を本事業では「温存後生殖補助医療」と呼んでいます。

妊孕性温存療法および温存後生殖補助医療をご希望の方は、主治医にご相談ください。

【対象者】

- ①事業申請時に、福島県内に住所を有するがん患者の方
- ②県が指定する医療機関において妊孕性温存療法または温存後生殖補助医療を受けた方
- ③(妊孕性温存療法の場合)凍結保存時に43歳未満の方(温存後生殖補助医療の場合)治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満の夫婦

※申請の受け付けは、原則、治療費を支払った年度の3月31日までとなります。

【県が指定する医療機関】

医療機関名	住所
福島県立医科大学附属病院	福島市光が丘1番地
医療法人いわき婦人科	いわき市内郷綴町大木下3-2

【申請期限】

令和8年3月31日(火)  
(令和7年度事業分)

【申請先】(郵送可)

〒960-8670  
福島市杉妻町2番16号  
福島県地域医療課  
☎024(521)7221  
詳細は、県ホームページをご覧ください。



福島県 妊孕性温存療法 検索



「がん」は、誰もが直面する可能性のある病気です。しかし、がんやその疑いがあると診断された時は、今後の治療や生活、家族、仕事のことなど、様々な不安や悩みが生じ、一人で抱え込まれる方も多いのではないのでしょうか。

県では、県内9か所の病院に「がん相談支援センター」を設置しており、患者さん本人だけでなく、御家族を始め、ごなくても無料で利用することができます。匿名での相談も可能ですので、ぜひ御活用ください。

がんに向き合うためには、正しい情報と支えが必要です。お一人でお悩まず、まずはお気軽に御相談ください。

知事メッセージ  
— Message —



がんに向き合い、自分らしい生活を送るために  
福島県知事 内堀 雅雄